

UPKI電子証明書発行サービスについて

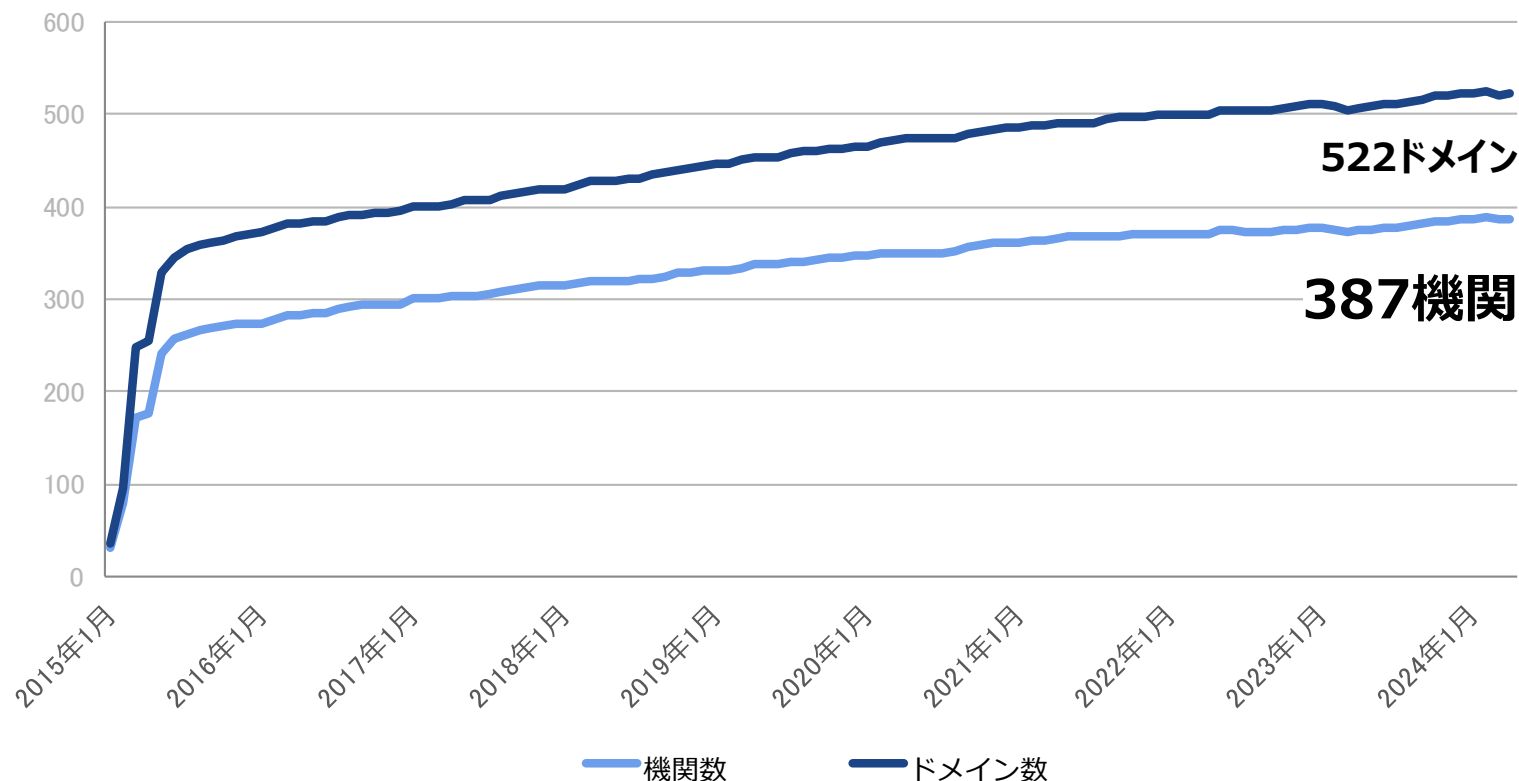
NII 学術情報基盤 オープンフォーラム 2024
2024年6月12日

UPKI電子証明書利用状況（2024年4月末日現在）

387機関 522ドメイン で利用中

- サーバ証明書発行有効枚数 23,828枚（のべ発行数 134,258枚）
- クライアント証明書有効枚数 44,565枚（のべ発行数 77,868枚）

機関数とドメイン数



証明書発行事業者の調達について

2024年4月以降も引き続き、2023年度までと同じ証明書発行事業者と契約となりました。各種証明書の利用方法に変更はありません。

- ◆2023年4月24日に提供を終了しましたコード署名用証明書について、発行済みの証明書は有効期限まで利用可能です。

S/MIME証明書 BR対応

■ P12個別・一括発行時のパスワード文字数の変更

変更点：17文字以上から22文字以上に変更になります

時 期：2024年7月改修予定

■ CAAレコード

変更点：認証局は、CAAレコードの取得が必要となります。

CAAは未設定で問題ありませんが、もしDNSサーバにCAAレコードを設定する場合は、セコムトラストシステムズのCAを指定していただく必要があります。

(例) example.org. IN 3600 CAA 0 issuemail "secomtrust.net"

時 期：2024年11月改修予定

電子証明書自動発行支援システムの機能追加

■ダウンロード機能の期間指定

電子証明書自動発行支援システムの証明書情報一括ダウンロード機能に、申請日の開始日と終了日を指定できる機能を追加します。

改修時期：2025年改修予定

サーバ証明書用新CAの構築

ルートCA利用期限に対応するため、サーバ証明書用新CAの構築を予定しています。 ※サーバ証明書の差し替えは必要ありません。

■ 新CA構築日程

2025年10月 サーバー証明書用新CA

「NII Open Domain CA - G8 RSA」 構築完了

ルートCA利用期限：2026年3月1日

有効期限13か月のEE証明書を発行できる期限

マニュアルの整備

■TSVファイルアップロード時のエラー対応リスト

TSVファイルを，電子証明書自動発行支援システムにアップロードする際に，エラーが表示された場合の原因と対応方法を下記URLで公開しています．

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/display/UPKIFAQ>

Security Communication ECC RootCA1 ブラウザ搭載状況



「NII Open Domain CA - G7 ECC」のRoot CAである
「Security Communication ECC RootCA1」のブラウザ搭
載状況は、下記URLで公開しています。

[https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage
.action?pageId=132713881](https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=132713881)

証明書発行・更新処理の自動化

証明書発行・更新処理の自動化（ACMEプロトコル）を可能にするため、検討を進めています。

時 期：2025年度中に対応予定

ご連絡・お問い合わせ先

国立情報学研究所
学術基盤課 認証基盤・クラウド推進チーム（認証 担当）

- お問い合わせフォーム
<https://certs.nii.ac.jp/contact/form>

原則，サービス利用機関または利用予定機関の機関責任者・登録担当者・経理担当者から
お願いします。